

いまもあしたも誇れる座間であるために…

発行者：おぎはら健司
メールアドレス：info@ogiharakenji.com
連絡先：042-719-4972 (ファックスも同じ)

おぎはら健司の市政レポート

東海相模通りの現況

一ヶ月ぶりのレポートになってしまいました。この間、平成29年第二回定例会も閉会し、各常任委員会では行政視察が計画されています。

私が委員長を務める企画総務常任委員会では、12日から三日間の日程で福岡市・柳川市・熊本市を訪問する予定ですが、豪雨災害の影響や被害状況を考慮し、中止を含めて慎重に検討をしたいと思います。行った際には、詳細をレポートにてお伝えいたします。

表題の件について、毎年この時期に『都市計画道路・相模原二ツ塚線および水窪座間線建設促進協議会』の総会が開かれます。いわゆる東海大相模通りを含めた都市計画道路の整備促進について、座間市・大和市・相模原市と神奈川県との担当者に加え、県・市議会から委員を選出している協議会ですが、県道51号町田厚木線（行幸道路）から、現在のノジマ電気がある県道50号座間大和線（村富線）交差点までの事業認可区間の認可期間が今年度末（平成30年3月31日）までとなっていることから、今年の総会では新たな動きについて報告がありました。

相模が丘五丁目と相模原市が接している部分については概ね工事が完了し、線路から行幸道路との区間については、工事が進む再開発と合わせて整備をする定となっております。

また、余談ですが、松が枝町交差点（ココイチのある信号）については、現行の二現示で行う計画とのことで、先日、相模が丘地区自治会連合会長と協議をし、7自治会長の連名にて歩者分離式の現示への改良を要望いたしました。

さて、本題について、事業認可区間では、いよいよ相模カンツリクラブ（以下ゴルフ場）との交渉を残すのみとなりました。

ゴルフ場側は、当初の計画通りにセットバックを行うと大幅なレイアウト変更を余儀なくされ、ゴルフコースとしての格調が損なわれる可

能性もあり、加えて地権者が数多く存在する事から進捗が見られない状況が続いておりましたが、地権者の合意を得られている部分を先行して整備する方針が新たに示されました。

具体的には、反対している若干名の地権者部分を残し、ゴルフ場側へのセットバックと道路拡幅、また、暫定的な措置として座間市側のみ歩道の設置を行う工事を、今年9月頃をめどに発注するという見解が示されました。

これにより、ボトルネック状態となっているゴルフ場より南側部分の整備進展が、大いに期待できる事となりましたが、全体の計画は総延長3,880メートル、幅員は15～16メートルの道路を、行幸道路～ノジマ電気間だけでなく、それより先の座間市と大和市の境界部分を南進し、大和斎場付近の旧246までを貫く計画である事から、引き続き整備要望を粘り強く続けて参りたいと思います。

都議会選挙で感じた事

7月2日に行われた東京都議会議員選挙ですが、マスコミの偏向報道の影響もあり、都民ファーストの会が大躍進し、自民党は歴史的惨敗を喫する結果となりました。

自民党側にも大いに責任はあるにせよ、一連の安倍政権に対するマスコミの報道ぶりは、平成21年の政権交代選挙を思い起こさせるものでしたが、忘れてはならないのは首長と地方議会は二元代表制である事です。

議員から首相を選び組閣をするという、国政に於ける議員内閣制とは違い、地方自治体では首長も議会も別々の選挙で選ばれます。

つまり、執行権を持つ首長の独裁を監視・制御する為に議決権を持つ議会議員が選ばれるということで、首長の言いなり議会となってしまうのか、是々非々での健全な議会運営がなされるのか、注目していきたいと思います。